

木更津市公共施設等個別施設計画（郷土博物館 金のすず） 概要版

:築50年以上 RC:鉄筋コンクリート造 :概ね良好 :広範囲に劣化
 :築30年以上 S:鉄骨造 :部分的に劣化 :早急に対応する必要がある
W:木造

[illegible]

1 計画の概要 本編:第1章～第2章

(1) 計画の背景	木更津市が保有する公共施設について、今後市保有公共施設のすべてを、同じ機能・規模で維持していくことが難しくなると予想される中、上位計画での基本方針を踏まえ、建物の安全確保のための管理や長寿命化等、財政負担の軽減・平準化を達成するため、個別施設ごとに建物の現状を把握し、今後の方向性に対策の方針を示すものです。
(2) 目的・位置づけ	木更津市郷土博物館 金のすずを対象とし、「木更津市公共施設等総合管理計画」や「木更津市公共施設再配置計画」を上位計画とし、学校や市営住宅等の長寿命化計画と並列関係にあり、これらの計画との整合を図る個別施設計画の策定です。
(3) 対象施設	郷土博物館 金のすず(本館)および、新収蔵庫・車庫・倉庫・電気室の5施設を対象とします。
(4) 対象期間	令和7(2025)年から 令和18(2036)年までとし、今後の社会経済状況の変化や国の政策動向等に柔軟に対応するため、必要に応じて適宜見直すこととします。

2 施設の現状・劣化状況と今後必要な対応 本編：第2章～第3章

(1) 施設の概況	郷土博物館館のすずは、平成20(2008)年4月に千葉県から移譲を受けた施設で築後54年を経過し老朽化が進行しています。				
(2) 建物調査結果	今後の管理や長寿命化計画の参考に資するべく、目視を主とする劣化状況調査を行いました。				
<table border="1"> <thead> <tr> <th>構造躯体の健全性</th><th>劣化状況調査</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td> 本館は、千葉県立上総博物館時代の平成13(2002)年に必要な耐震診断を実施し、平成19(2007)年に必要な耐震改修を行っており、耐震安全性が確保されています。耐震診断時に調査したコンクリートコアの圧縮強度が13.5N/mm²以上あるため、躯体は健全であり、長寿命化は可能な建物だと言えます。 </td><td> 対象5施設で屋根や外壁等の部位ごとにA(概ね良好)～D(要早急対応)評価を行いました。総合的な健全度は、71～78の範囲で、比較的良好な状態です。 ・躯体に問題事象は確認できませんでした。 ・劣化状況評価および健全度とも、一部の部位を除き、健全でした。 ・ただし、残り10年程度使うことを念頭に置いた場合、バリアフリーなどの機能向上を行うとコスト高となります。 </td></tr> </tbody> </table>		構造躯体の健全性	劣化状況調査	本館は、千葉県立上総博物館時代の平成13(2002)年に必要な耐震診断を実施し、平成19(2007)年に必要な耐震改修を行っており、耐震安全性が確保されています。耐震診断時に調査したコンクリートコアの圧縮強度が13.5N/mm²以上あるため、躯体は健全であり、長寿命化は可能な建物だと言えます。	対象5施設で屋根や外壁等の部位ごとにA(概ね良好)～D(要早急対応)評価を行いました。総合的な健全度は、71～78の範囲で、比較的良好な状態です。 ・躯体に問題事象は確認できませんでした。 ・劣化状況評価および健全度とも、一部の部位を除き、健全でした。 ・ただし、残り10年程度使うことを念頭に置いた場合、バリアフリーなどの機能向上を行うとコスト高となります。
構造躯体の健全性	劣化状況調査				
本館は、千葉県立上総博物館時代の平成13(2002)年に必要な耐震診断を実施し、平成19(2007)年に必要な耐震改修を行っており、耐震安全性が確保されています。耐震診断時に調査したコンクリートコアの圧縮強度が13.5N/mm²以上あるため、躯体は健全であり、長寿命化は可能な建物だと言えます。	対象5施設で屋根や外壁等の部位ごとにA(概ね良好)～D(要早急対応)評価を行いました。総合的な健全度は、71～78の範囲で、比較的良好な状態です。 ・躯体に問題事象は確認できませんでした。 ・劣化状況評価および健全度とも、一部の部位を除き、健全でした。 ・ただし、残り10年程度使うことを念頭に置いた場合、バリアフリーなどの機能向上を行うとコスト高となります。				

【劣化状況写真】



外壁のクラック（本館）



雨漏りの疑い（新収蔵庫）



階段のバリアフリー（本館）



屋根の雑草繁茂（車庫）

3 直近で必要な費用 本編:第3章

①本館の機能向上	5,250.1万円	②倉庫改修	34.3万円		
③新収蔵庫 機能確保	29.8万円	④車庫 機能確保	38.5万円	小計	5,352.8万円
・諸経費	1,735.4万円				
・設計費	708.0万円			小計	7,788.0万円
・消費税	778.8万円			計	8,566.8万円

今後必要な改修内容

(1)本館		改修内容
建築	外壁	・クラック補修
		・既存塗料の除去
		・再塗装
		・足場
	外部開口部	・安全手すり
		・シール打替え
	トイレ	・ドラライ化・洋式化、床・壁・天井
	ホール	・床・壁・天井
	展示室	・床・壁・天井
	バリアフリー	スロープ、手すり、サイン・ピクトグラム 階段リフト整備
バリアフリー トイレ	コンパクトバリアフリートイレパック (オストメイト、ベビーシート等)	
機械	給排水設備	
		・屋上配管更新 ・保温材(ステンレス)

(2)倉庫		改修内容
建築	外壁	・既存塗料の除去
		・再塗装
		・足場
	外部開口部	・安全手すり スチール塗装

(3)新収蔵庫		改修内容
建築	屋根・屋上	雨漏り補修

(4)車庫		改修内容
建築	屋根・屋上	折板屋根カバー工法

4 今後の検討課題 本編:第4章

改修コストを抑えた修繕改修	施設の今後の方向性が決定する令和18(2036)年まで間、これまで通りの修繕や維持管理を行います。(定期点検等を含む)
---------------	---

今後の 検討課題	(1) 旧金鈴塚遺物保存館の機能廃止と、収蔵スペース(178.4㎡程度)の確保。
	(2) 10年以内に「文化財公開施設の計画に関する指針」(平成7年8月 文化庁 文化財保護部)に基づき、国指定文化財をはじめとする文化財の公開・活用と維持・保存環境を維持する施設への機能移転、複合化の候補施設を検討する。